

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		環境月間事業費 [環境月間事業]									
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	7	環境保全費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	環境		課		環境公害		係		課長名	下村 和郎	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全								総合計画書 (ページ)	99		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				→人口 85,266人(令和2年4月1日時点)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	市民が環境パネル展を見ること、環境市民の集いに来場し様々な体験等を行うことにより、環境への意識啓発と環境情報の提供を行う。				→市内小学4年生のポスター展参加人数。						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	新型コロナウイルス感染症の影響のため、パネル展及び環境市民の集いは中止になったが、環境ポスター展は10月24日から10月31日の間、入選作品のみ庁舎1階ロビー及び市HPにおいて実施。				→実施日数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	人	来庁者+605人	来庁者+2,300人(集い来場者)+460人(ポスター展出者)	414人(ポスター展出者)					
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方 市民の環境への意識を啓発し、実践に移してもらう。								
活動指標	③の数値	日	31	32	8						
3 経費	事業費(実績)		円	1,085,848	1,095,108	107,170		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	1,085,848	1,095,108	107,170					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.01					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	164,880	166,200	83,800					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	1,250,728	1,261,308	190,970						
4 環境変化等	(1) 開始年度	S61 年度									
	(2) 環境の変化	昭和61年度に「東大和市環境月間」を定め、市民への環境啓発事業の一環として関係各課の取組みを企画展示している。近年は、地球温暖化防止対策、気候変動適応策、再生可能エネルギー、マイクロプラスチック問題等、多岐に渡り市民の関心が高まっているため、パネルのテーマについても検討をしている。									

事業名称	環境月間事業費 [環境月間事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	環境ポスター展の日程の問合せ			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：②		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	環境全般について関心を持つきっかけとなるようなパネル展示とする。 市民の関心の高いテーマをリサーチをして、求めている情報を提供していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	新型コロナウイルス感染症の影響により、環境パネル展及び環境市民の集いが中止となってしまったが、環境ポスター展については、市役所を訪れた市民が足を止めて見てもらえるように目につく位置に配置した。また、市役所に来庁しなくても市のHPで見れるように工夫した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
コロナ禍での環境パネル展及び環境市民の集いの開催方法が課題。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 環境の保全				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 環境市民の集いは不特定多数の人数を集客するイベントであり、コロナ禍での会場開催における感染対策が重要となってくる。しかし、環境についての発信は続けていくことが必要と考えるため、発信方法を検討し、オンライン開催等に取り組む必要がある。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
オンライン開催の場合、開催までに、サイト構築に係る知識、経費、周知方法等課題を要する。また、参加団体(サイト出展者)にとっては、開催後の市民(閲覧者)の反応が今後の活動の参考となるため、その集約方法等が課題となる。				